

研究内容の開示

東京歯科大学市川総合病院の倫理審査委員会が審査を行って承認し、同病院長が実施を許可した下記の研究について、研究の対象者に該当する可能性があって、診療の情報等を研究の目的で利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。なお、ご協力いただけても患者さんに不利益は生じません。また、ご協力いただきましても謝礼はございません。

研究課題 胸部悪性疾患による食道気管（気管支）瘻のステント治療症例の検討
（倫理審査委員会承認番号： 124-44 ）

研究責任者 呼吸器外科部長 江口圭介

本研究の目的と意義 進行した肺癌や食道癌によって経過中に食道と気管・気管支の間に交通（瘻）が生じることがあります。これにより食べたものが肺に流れ込み肺炎になったり、食事をするのができなくなる重篤な状態となります。この状態を改善するためにステントという管を食道や気管・気管支に挿入し瘻を塞ぐ治療が行われます。この治療法自体は広く認められている方法ではありますが、対象となる症例は限られております。本治療をより良いものとするために、私たちは過去当院でおこなった治療例を対象に、患者さんにどのようなメリットがあったか（あるいはデメリットが生じたか）を明らかにして今後の治療の改善に役立てようと考えています。

研究の対象になる患者さん 2015年の5月から2021年6月までに当院で上記該当する疾患で治療を受けた患者さんの当院に保管されている診療録を拝見いたします。疾患の状況、治療の経過、生存期間、死因、画像所見などを参考に治療結果をまとめさせていただきます。

研究期間 この研究の実施が認められてから2025年6月30日まで

個人情報の取り扱い 研究内容は学会発表や論文などの形式で発表させていただく予定ですが、匿名化されたデータとして使用させていただくので患者さん個人が特定できる診察券番号、氏名、生年月日、住所、治療を行った期間や死亡日時などがこの報告で外部に漏洩することはありません。

本研究の資金源 本研究は診療録をもとに過去の診療を検証するものであるため特別な資金は必要ありません。対象の患者さんに謝礼はございませんが、ご負担がかかることもありません。

企業との関係 この研究に企業や営利団体は関わっていません。

お問い合わせ先 対象となる患者さんで、この研究に協力したくない場合や、研究についてさらにお知りになりたい場合は下記にご連絡ください。
東京歯科大学市川総合病院呼吸器外科 江口圭介 047-322-0151代表